



## CHAPTER 2

# Integration Utility のインストール

この章では、Cisco Prime Integration Utility のインストールおよびアンインストールを実行するために必要なタスクについて説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [ソフトウェア要件](#)
- [ハードウェア要件](#)
- [サポートされるネットワーク管理システム](#)
- [Integration Utility のインストール](#)
- [Integration Utility のアンインストール](#)

## ソフトウェア要件

次のいずれかのオペレーティング システムを実行する必要があります。

Unix の場合：

- Solaris 10

Windows の場合：

- Windows 2008 Standard Edition Release 1 (SP1 および SP2)
- Windows 2008 Enterprise Edition Release 1 (SP1 および SP2)
- Windows Server 2008 R2 Standard Edition
- Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition SP1



(注)

上記のバージョンの Windows オペレーティング システムでは、64 ビット オペレーティング システムのみサポートされています。

## ハードウェア要件

- メモリ (RAM) : 最小 4 GB のメモリと 8 GB のスワップ領域が必要です。スワップ領域が 8 GB 未満の場合、インストールが終了します。
- 必要な領域 : 4096MB (これには NMIDB パッケージを抽出するために必要な領域が含まれます)

# サポートされるネットワーク管理システム

表 2-1 に、Integration Utility 1.11 でサポートされるネットワーク管理システム (NMS) を示します。

表 2-1 サポートされるネットワーク管理システム

ネットワーク管理システム	サポートされるプラットフォーム
HP Open View 9.1、9.01、9.0、8.13、8.1	<p><b>Windows</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2008 R2 Standard x64 Edition</li> <li>Windows 2008 Server Standard Edition Release 1 (SP1 および SP2)</li> <li>Windows 2008 Enterprise Edition Release 1 (SP1 および SP2)</li> <li>Windows Server 2008 R2 Standard Edition</li> <li>Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition</li> </ul> <p>(注) 上記のバージョンでは、64 ビット オペレーティングシステムのみサポートされています。</p> <p><b>Solaris</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Solaris 10</li> </ul> <p>これらのプラットフォームでは、ローカルおよびリモート統合がサポートされます。</p> <p><b>Soft Appliance</b></p> <p>(注) Soft Appliance については、リモート統合のみサポートされます。</p> <p>HP OpenView と LMS の統合については、HP サイトの『<i>NNMi Deployment Guide</i>』を参照してください。</p>
HP OpenView 7.53、7.51、7.50	<p><b>Windows :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2008 Server Standard Edition Release 1 (SP1 および SP2)</li> <li>Windows 2008 Enterprise Edition Release 1 (SP1 および SP2)</li> <li>Windows Server 2008 R2 Standard Edition</li> <li>Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition</li> </ul> <p>(注) 上記のバージョンでは、64 ビット オペレーティングシステムのみサポートされています。</p> <p><b>Solaris :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Solaris 10</li> </ul> <p>上記のプラットフォームについては、リモート統合のみサポートされます。</p>

表 2-1 サポートされるネットワーク管理システム (続き)

ネットワーク管理システム	サポートされるプラットフォーム
NetView 7.1.4、7.1.5	<p><b>Windows :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2008 Server Standard Edition Release 1 (SP1 および SP2)</li> <li>Windows 2008 Enterprise Edition Release 1 (SP1 および SP2)</li> <li>Windows Server 2008 R2 Standard Edition</li> <li>Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition</li> </ul> <p>(注) 上記のプラットフォームでは、64 ビット オペレーティングシステムのみサポートされています。</p> <p>上記のプラットフォームについては、リモート統合のみサポートされます。</p>

## Integration Utility のインストール

Cisco Prime Integration Utility 1.11 は LMS 4.2 の製品 DVD に収録されています。Integration Utility 1.11 はスタンドアロン製品としてシステムにインストールできます。  
SystemDrive:\\$disk1¥install¥NMIM¥setup.exe から setup.exe ファイルを実行します。

### インストール上の注意事項

Integration Utility のインストールを開始する前に、次のことを確認してください。

- この製品をインストールするには、管理者権限が必要です。
- サードパーティ NMS と同じマシンに Integration Utility をインストールします。

### インストール手順

インストールのカスタム モードで Integration Utility をインストールできます。

Integration Utility のインストールの詳細については、『*Installing and Migrating to Cisco Prime LAN Management Solution 4.2*』を参照してください。

### インストール時のユーザ入力

Integration Utility のカスタム インストールの最後に、このユーティリティを NMS と統合するように指示されます。

次のいずれかを選択できます。

- [Integrate Now]

または

- [Integrate Later]

[Integrate Now] オプションを選択した場合は、次の情報を入力するように指示されます。

- 統合に使用する NM アダプタ。
- NMS マップから CiscoView に到達する Cisco Prime Server の詳細 (スタンドアロンのみ)
  - Cisco Prime Server 名
  - Port

- プロトコル (HTTP または HTTPS)
- Cisco.com から NMIDB 更新を取得するオプション (Yes または No)
- NMIDB を更新するための Cisco.com のログイン名およびパスワード (オプション)
- Cisco Prime アプリケーションを起動するためのデフォルトのブラウザ パス

これらのフィールドの詳細については、[Cisco Prime アプリケーションの NMS への統合](#)を参照してください。

[Integrate Later] オプションを選択した場合は、Cisco Prime アプリケーションとサードパーティ ネットワーク管理システムの統合を開始するときに、これらの情報を入力する必要があります。

## Integration Utility のアンインストール

Integration Utility を他の Cisco Prime アプリケーションと一緒にアンインストールできます。

アンインストールの詳細については、『*Installing and Migrating to Cisco Prime LAN Management Solution 4.2*』を参照してください。